

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 西澤電機計器製作所					
代表者名	氏名	西澤 孝枝	役職名	代表取締役		
主たる事務所の所在地	長野県埴科郡坂城町大字坂城6249					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	29 電気機械器具製造業				
主たる事業の概要	電気設備のフィールドメンテナンスを行うための現場用電気計測器および眼科・外科等の医療現場で使われる医療用機器の開発・製造・販売業務					
制度に該当する要件	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kL	132.88	119.59			
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	268.20	/			
	調整後排出量	t-CO ₂		63.25	56.96	
その他ガス排出量合計	t-CO ₂					
自動車の台数	台	6				
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂					

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2022	年度
------	------	----

計画期間	2023	年度～	2025	年度
------	------	-----	------	----

報告対象年度		年度
--------	--	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	経営管理部 9:00～17:00 経営管理部 0268-82-2900
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

製品の製造及びすべての事業活動にあたり、人の健康の維持と地球環境保全を重視しています。また、地域社会との調和を図り、社会に貢献できる企業であることを目指しており、以下の方針を提示します。

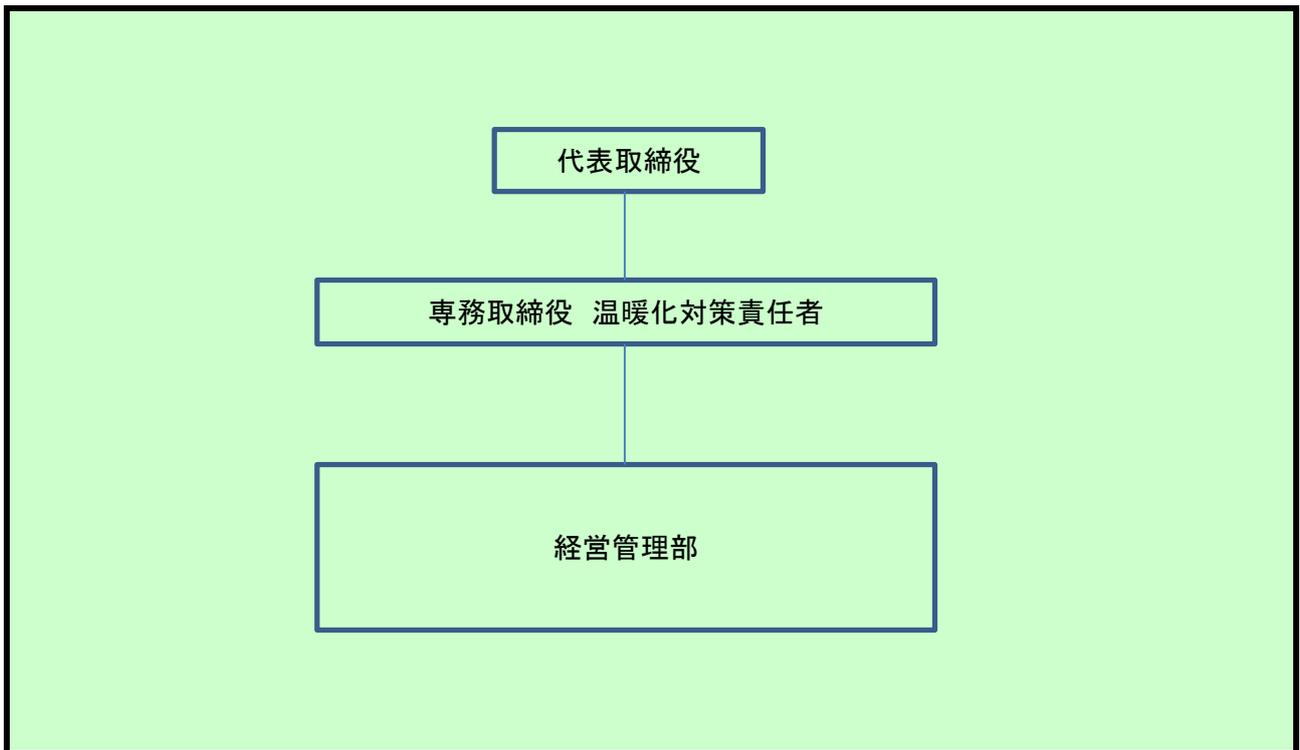
1. 事業活動、製品及びサービスが環境に与える影響を捉えて、技術的・経済的に可能な範囲で、環境目的・目標を設定し環境マネジメントシステムの継続的な改善を図る。
2. 法令遵守と共に地域との共存を念頭において自主基準を制定し、一層の環境保全に取り組む。
3. 省資源・省エネルギーに努め、廃棄物の削減及びリサイクルを推進する。
4. 環境教育や啓蒙活動を実施し、全社員への環境方針の理解と周知を行い意識の向上を図る。
5. 環境方針を社外に公表する。

具体的な活動として、主たるエネルギーである電力のCO₂フリー化を始め、省エネ対応で温室効果ガス排出の抑制を行うものとします。

2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等

目標等の有無	無	目標年度	年度	削減目標	
削減計画の概要					
イニシアチブ 参画状況	<input type="checkbox"/> SBT	<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/> 再エネ100宣言 RE Action	<input type="checkbox"/> その他	

5の1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制



5の2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

SDGs推進会議 (1回/月)

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	268.20	t-CO ₂	売上高	8.23	単位	億円
2022年度	調整後排出量	63.25	t-CO ₂	基準原単位	32.59	t-CO ₂ /	億円
目標年度	目標排出量 (調整後排出量)	56.96	t-CO ₂	目標原単位	29.33	t-CO ₂ /	億円
2025年度	目標削減率	78.76	%	目標削減率	10.00	%	
目標設定に関する説明	1. 使用電力の100%をCO ₂ フリー化 2. 圧縮空気発生装置を省エネインバータ方式に入れ替えて省エネ化 3. 窓サッシを単層ガラスから複層ガラス化して断熱効果アップし省エネ化 4. 自社農園にて米・野菜を収穫、社員食堂利用でCO ₂ 吸収、物流CO ₂ の発生を抑制 5. 電力量のデマンド監視によるピークカットを実施 6. 協力会社にて分散生産していたものを一気通貫生産し、物流活動を抑制						
第一年度	排出量		t-CO ₂	売上高		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2023年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂	売上高		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	売上高		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO ₂			単位	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2023 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO ₂			単位	
2022年度	調整後排出量			基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2023年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2024年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2025年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

番号	区分	設備等	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	昇降機・建物	窓を断熱性の高いものに交換	2023～2024			
2	エネ起	一般管理事項	デマンド監視	2023～2025			
3	エネ起	一般管理事項	電力量計の運用	2023～2025			
4	エネ起	空調機	旧型空調機器を最新機器へ交換	2023～2024			
5	エネ起	一般管理事項	環境マネジメントシステム推進	2023～2025			
6							
7							
8							
9							
10							

9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	0	0			
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			

10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年					
FIT非化石証書	千kWh/年					
非FIT非化石証書(再エネ指定)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
J-クレジット	t-CO ₂ /年					
県が認証したクレジット (森林CO ₂ 吸収評価認証制度等)	t-CO ₂ /年					
再生可能エネルギー電気 (自家消費、PPA、自己託送等)	千kWh/年					
再生可能エネルギー電気 (小売電気事業者からの買電)	千kWh/年	456	使用電力の 全量			
うち県内産	千kWh/年					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	1	268.20						
合計	1	268.20						

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計				

1.3 次世代自動車の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	1			
合計	1	0	0	0
自動車総数	6			
次世代自動車導入割合	16.7			

様式1号
(総括票)

1.4 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	出張時は、公共交通機関の利用推進している
自転車の利用促進	なし
来客者の交通対策／社用車等の移動に伴う取組	公共交通機関の最寄り駅、ルートを提示している
電気自動車用充電設備の設置／電気自動車の導入	なし
物流の合理化	一気通貫生産（プリント基板から完成まで）による部材の輸送を抑制

1.5 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）支持を表明している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		1998年
	名称	ISO14001	
<input type="checkbox"/> グリーンボンド・ESG投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している		
<input type="checkbox"/> ZEB	の認証を取得している		
<input type="checkbox"/> デマンド・レスポンス（DR）	電気の需要の最適化に資する措置（上げDR・下げDR）を実施している		
<input type="checkbox"/> その他			

1.6 自由記載欄（特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等）

<p>CO₂フリー電力の導入</p> <p>当社は、2022年7月1日より中部電力ミライズ株式会社が提供するCO₂フリーメニュー※（ミライズGreenでんき）を坂城本社（長野県坂城町生産工場）の電力に導入しました。</p> <p>事業活動におけるCO₂削減は企業の責任であると考え、脱炭素社会実現への取り組みとして環境配慮に向けたカーボンニュートラル実現のため同電力の利用を開始しました。</p> <p>その背景として、当社が排出するCO₂のほとんどが電力由来のものであり、産業廃棄物のリサイクルと共に、電力によるCO₂削減が必須であると判断しました。これにより、坂城本社で使用する電力は実質的に100%再生可能エネルギーに切り替わり、電力使用によるCO₂排出量はゼロとなります。</p> <p>今後は、太陽光発電導入等のさらなる展開を進め、脱炭素社会の実現を目指し、引き続き2030年までの国際開発目標であるSDGsに積極的に賛同し、地域・地球の環境保全に貢献していきたいと考えます。</p> <p>※ 中部電力ミライズ株式会社が提供する発電時にCO₂を排出しない再生可能エネルギー電源（同社が保有する水力発電などの再エネ電源）に由来するCO₂フリー価値付きのメニュー。</p>
--